

氏名	石 崎 雅 信
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 279 号
学位授与の日付	昭和43年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	白血病病像の変貌に関する臨床統計的研究 第1報 急性白血病初期像の変貌について 第2報 副腎皮質ステロイド治療による白血病病像の変貌について
論文審査委員	教授 平 木 潔 教授 小 坂 淳 夫 教授 大 藤 真

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

(第1報) 昭和40年までの13年間の当科入院急性白血病237例を入院年次の新旧により3期に分け、初診時の主な病像を統計的に比較検討した。最近は貧血とHb量低下の軽症例、末梢血白血球数増加の低い例、末梢血白血病芽細胞率の低い例、血小板数減少の軽い例、骨髓の白血病芽細胞率の低い例、骨髓の赤芽球系の低率でない例、高熱・リンパ節腫・肝腫・出血素因などのない例が増加していることを確認し、この傾向は急性リンパ性白血病にもっとも明瞭であった。

(第2報) 昭和39年までの11年間の当科入院白血病患者266例を副腎皮質ステロイド使用群と非使用群に分け、合併症の発現頻度を比較し、使用群に感染症と消化管潰瘍の明らかな発現頻度の上昇があり、真菌感染や多発性潰瘍もかなりみられ、また使用群のみに糖尿と精神障害の発現を認めた。この成績について文献的考察を含め検討した。

(昭和43年6月30日、岡山医学会雑誌、第80巻5.6号に掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究は、白血病臨床面における近年の病像変貌に関して初期病像および合併症について臨床統計的観察を行なったものであり、従来明確化されていなかった白血病病像の変貌について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。